

## 見て、聴いて、触れて、五感で感じるステキなラオス

<b>所属</b>	愛知県立南陽高等学校	<b>実践者</b>	林 雄一
<b>対象</b>	2年総合探究入門受講者 12名	<b>時間数</b>	3時間(50分×3)
<b>場所</b>	1棟3階プレゼンテーションルーム	<b>実践教科</b>	総合的な学習の時間
<b>ねらい</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラオスに肯定的に出会い、日本以外の国や途上国を身近に感じることができる。</li> <li>・ラオス人と日本人の共通点、相違点を見つけ、それもアリ!と思える。</li> <li>・国際協力を理解し、自分にできることを真剣に考えることができる。</li> <li>・自己肯定感を持てるようになる。</li> </ul>		
<b>実践内容</b>	<b>回</b>	<b>プログラム</b>	<b>備考</b>
	1	<p style="text-align: center;">～ 国際協力 ODA、ラオスを知る ～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アイスブレイキング 4人×3グループに席替え 自己紹介「一番行ってみたい国は？」</li> <li>2 「国際協力って何だろう?ハンドブック」を読む。</li> <li>3 ラオス紹介パワーポイント、ラオスクイズ</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4用紙、マーカー</li> <li>・「国際協力って何だろう?」ハンドブック(ブルータスNo.7 87付録)</li> <li>・パワーポイント</li> <li>・ラオスはどこ?世界地図</li> </ul>
	2	<p style="text-align: center;">～ ラオス人を知る ～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アイスブレイキング 4人×3グループに席替え 自己紹介「私の大切なもの」</li> <li>2 ラオス人なりきり自己紹介♪ ※年齢は?家族構成は?仕事は?人物になりきって話をする。 ※1, 大切なもの, 2, 幸せを感じる時を盛り込むこと。 ※プロジェクターに写真を映し、答え合わせをする。</li> <li>3 日本人と比較してみよう!!! ※100人の日本人とラオス人の考える大切なものを公開。 ※ラオスの「家族」にまつわるエピソードを紹介。 「4つの対比表」で、日本と比較する。 ※ラオスの良いところ、日本の良いところ、ラオスと日本の共通点、相違点を記入。 ※ギャラリー方式で共有。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4用紙、マーカー</li> <li>・ラオス人なりきり自己紹介カード(4人×3枚)</li> <li>・ワークシート</li> <li>・パワーポイント</li> </ul> <p style="text-align: center;">・パワーポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模造紙</li> <li>・マーカー</li> </ul>
	3	<p style="text-align: center;">～ 私たちにできること 不発弾問題を考える ～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「クイズ これは何でしょう?」 答え・クラスター爆弾 ※不発弾の被害VTRを観る。</li> <li>2 派生図「もし日本に不発弾が大量に埋まっていたら・・・」</li> <li>3 ラオスの不発弾問題、日本国内の不発弾問題を知る ※沖縄の不発弾に関するニュースを知る。</li> <li>4 UXOrao の活動を知る。</li> <li>5 4月からの授業を振り返って、「世界に対して、地球に対して、私たちができることは何だろうか?」を考える。(今・10年後)</li> <li>6 感想を発表</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント</li> <li>・ラオスの不発弾被害DVD (from UXOrao)</li> <li>・模造紙、マーカー</li> <li>・沖縄の不発弾に関するニュースプリント</li> <li>・「私ができることは何だろうか? (今・10年後)」プリント</li> </ul>
<b>成果</b>	ラオスと肯定的に出会い、異文化に興味を持つことができた。また、日本で当たり前に行っていることが、世界では決して当たり前では無いことに気づくことができた。一方で、日本と全く違う文化、生活感を持った人でも、我々と同じような価値観(家族を大切にする等)を持っていることを知り、お互いに協力し合うことの大切さを実感することができた。		
<b>課題</b>	生徒の学習意欲・問題意識を高めることはできたが、今回のねらいの一つである「自分にできることを真剣に考える」という点では、改善の余地がある。今の自分たちを振り返らせ、現地で生き生きと生活している人々や、青年海外協力隊員の紹介などを通じて、生徒が主体的に考え、「もっと知りたい」、「行動したい」というような積極的な気持ちが生まれる授業を作ることを今後の課題としたい。		
<b>備考</b>	現地で収集したラオスグッズを教室に展示。生徒は自由に見て、触れて OK。		

## [ 授業実践の詳細 ]

### 1 時限目「国際協力 ODA、ラオスを知ろう！」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ① **アイスブレーキング** 自己紹介「一番行ってみたい国は？」
- ② 『国際協力って何だろう？ハンドブック』を読む。  
グループで分担して読み、驚いた箇所、興味を持った箇所等に下線を引く。その後に読み合わせを実施し、共有する。
- ③ **ラオスと出会う。**  
写真、動画、調達したお土産の数々を見て、触れて、ラオスの魅力を感じる。また、ラオスクイズを実施し、正解者には豪華ラオスグッズをプレゼント。

#### この時限のねらい

- ・ラオスと肯定的に出会い、ラオスの魅力を感じる。
- ・授業で学んだ ODA について復習することで、国際協力についての意識を高める。また、ラオスで見えてきた日本からの援助や青年海外協力隊と関連づけて考える。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 国際協力について深い関心を示すようになった。特に、2011 年の東日本大震災時の海外からの多額の支援金を知ったことで、ODA の重要性を再認識した様子だった。
- ◇ ラオスという国について、「貧困」というイメージ以外はほとんど何も無いところから始まったが、ラオスの衣食住、文化等を知り、興味を持つことができた。こちらの問いかけにもよく反応し、積極的に学ぼうという意欲がみられた。
- ◇ 日本からの支援でラオスの空港が作られていることや、ラオスの青年海外協力隊の活躍を知り、国際協力をより身近に感じることができた。

#### 3 使用した教材

<教材1>国際協力  
って何だろう？  
ハンドブック

<教材2>現地で収集  
したラオスグッズ



<教材3>パワーポイント

#### ラオスの電力源は？

- ▶ ① 水力発電
- ▶ ② 原子力発電
- ▶ ③ 風力発電
- ▶ ④ 火力発電
- ▶ ⑤ 太陽光発電



## 2 時限目「ラオス人を知ろう！」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング 自己紹介「私の大切なもの」
- ② ラオス人なりきり自己紹介♪  
写真のラオス人になりきって、自己紹介をしてみよう！ 家族構成は？仕事は？趣味は？どんな人物なのだろう？？  
1大切なもの、2幸せを感じる時 を自己紹介に必ず盛り込む。自己紹介終了後、パワーポイントで正解を発表。
- ③ 日本人とラオス人を比較し、見えてくるものとは？  
100人の日本人と現地ラオス人の大切なものランキングを発表。ラオス人を知る上で重要なキーワードは「家族」。ラオス人の「家族」にまつわるエピソードを紹介する。「4つの対比表」を作成し、日本人と比較する。(ラオスの良いところ・日本の良いところ・共通点・相違点)最後にギャラリー方式で共有する。

### この時限のねらい

- ・ラオス人の生活、価値観などを知ることによって、ラオス人を理解する。
- ・日本人とラオス人の共通点、相違点を知ることによって、異文化を自然に受け入れられるようにする。
- ・自分のこれまでの生活、価値観を振り返る機会を持つ。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ なりきり自己紹介では、写真のラオス人のプロフィールや立場、価値観等を想像し、真剣に取り組むことができた。
- ◇ ラオス人の大切なもの、幸せを感じる時を知り、共通点と相違点について知ることができた。ラオスの子ども達の、「先生」を大切に感じる、「勉強をしているとき」に幸せを感じる等の意見には驚いた様子であった。また、ラオスの人々も自分たちと同じような価値観を持っていると感じた生徒が多数であった。



### 3 使用した教材

<教材1>なりきり自己紹介カード、ワークシート



ラオス人なりきり自己紹介♪  
ワークシート

氏名 \_\_\_\_\_

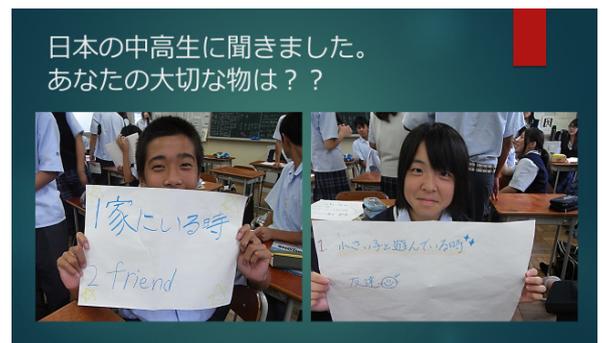
・名前 ( )  
・年齢 ( )  
・家族構成 ( )  
・作業・趣味など ( )

\_\_\_\_\_

・大切なもの ( )  
・幸せを感じる時 ( )

※写真の人に失礼な内容を掲載する内容にならないように注意しましょう。

<教材2>パワーポイント  
なりきり自己紹介正解発表  
日本人とラオス人の大切なもの  
ラオスの「家族」エピソード



### 3 時限目「私たちにできること ～不発弾問題を考える～」

#### 1 子どもの活動の流れ

① クイズ「これは何でしょう？」

クラスター爆弾の写真を観て、何の写真か当てる。ラオスの不発弾被害 DVD を観て、不発弾の恐ろしさ、被害の様子を視覚的に認識する。

② 派生図「もし日本に不発弾が埋まっていたら・・・」

ラオスの不発弾の脅威を知り、実際に日本に不発弾が大量に埋まっていたらどうなるか派生図を作成し、考える。

③ ラオスの不発弾問題、日本国内の不発弾問題を知る。

パワーポイント、沖縄の不発弾関連のニュースプリントを使用し、ラオスでの不発弾の被害状況や問題点、日本での不発弾問題について理解する。

④ UXOrao の林専門家の活動を知る。

⑤ 「世界に対して、地球に対して、私たちができることは何だろう？(今・10年後)」を考える。

ワークシートに「今できること」「10年後にできること」を記入する。4月から今までの総合探究入門で学んだことを振り返り、ESD の観点からアクションプランを考える。その後、グループで発表。グループ代表者が全体で発表し共有する。(写真1 派生図) (写真2 私ができること)

#### この時限のねらい

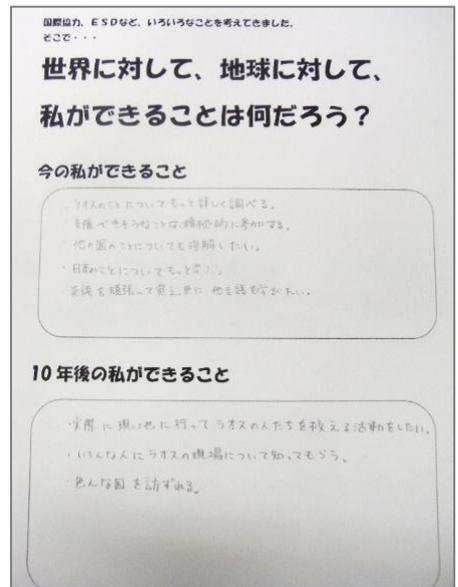
- ・ラオスの不発弾問題を多角的にとらえ、戦争、紛争、貧困などの課題を考える。
- ・日本と諸外国はつながっているという意識を持ち、私たちが世界や地球のためにできることは何かを考える。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

◇ DVD を真剣な表情で鑑賞していた。主な被害者が、戦争とは何も関わりの無い一般市民であり、多くの子ども達が被害にあっていることに問題意識を持つことができた。

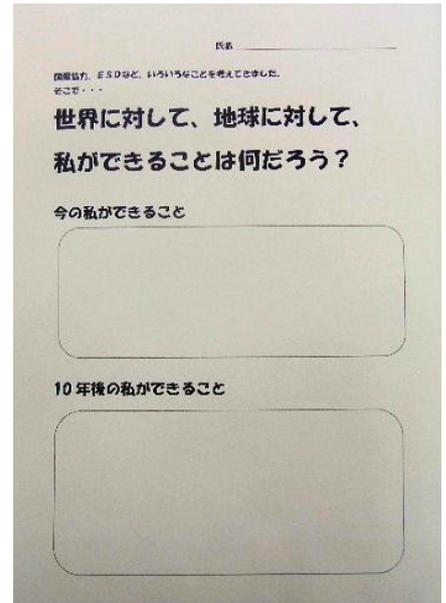
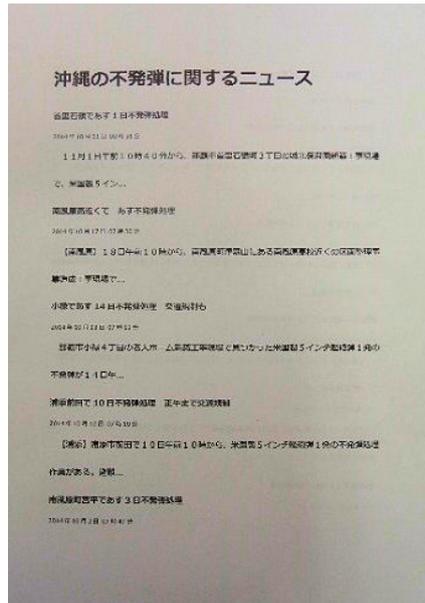
◇ 「日本に大量の不発弾が埋まっていたら」(写真1派生図:上)というテーマで派生図を作成した。「引きこもりになる」「農地が耕せない」「景気が悪くなる」等のネガティブな意見が大多数の中、「戦争を忘れなくなる」というポジティブな意見があったことに驚いた。

◇ 「世界に対して、地球に対して、私ができること」(写真2:下)について、今・10年後と区別して考えることができた。「今できること」は、積極的にボランティアに取り組む、節電・節水する、異文化・日本文化を理解する、国際問題を知り合いに知らせる、多言語を勉強する、フェアトレード商品を購入する等の意見が挙がった。「10年後」は、開発途上国に実際に行き、現地の人のために働きたい、多くの国を訪れる、青年海外協力隊や NGO に加入したい、支援したい、なるべく車に乗らない等が挙がった。生徒たちは、それぞれが問題意識を持ち、自分にできることをすることが大切であるという共通認識を持つことができた。



**3 使用した教材**

- <教材1> UXOrao 提供の DVD
- <教材2> 沖縄の不発弾に関するニュースプリント(左)
- <教材3> 私ができることは何だろう？プリント(右)



<教材4> パワーポイント(クイズ「これは何でしょう?」、ラオスと日本の不発弾問題を知る)



実は、日本各地でも・・・

- ▶ 大阪府北区 (2013年2月、6千人避難)
- ▶ 東京都北区 (2013年11月、新幹線運休)
- ▶ 仙台 (2012年12月、仙台空港閉鎖)・・・

▶ 2007年までに自衛隊が発見・除去した不発弾の件数

**▶ 122,204件!!!**

**UXO LAO (ラオス不発弾処理プログラム)**  
林 JICA 専門家の活動

- ・設立 1996年
- ・役割 不発弾除去により不発弾による被害者数を減らす。除去を通して農業の促進・開発を進める。
- ・人員 約1,000人
- ・予算 年間約6億円～7億円

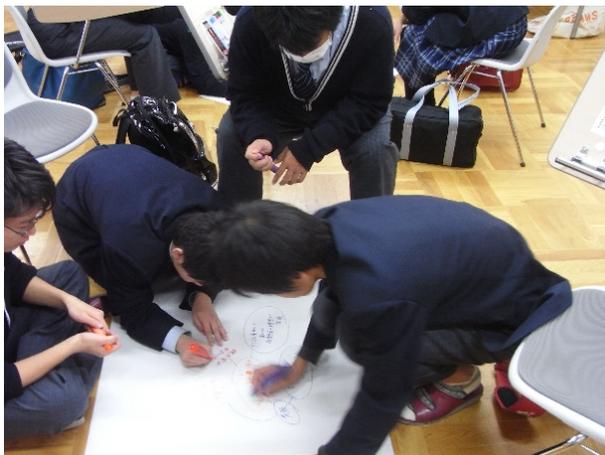
## ■ 全体を通して

### 1 授業の様子

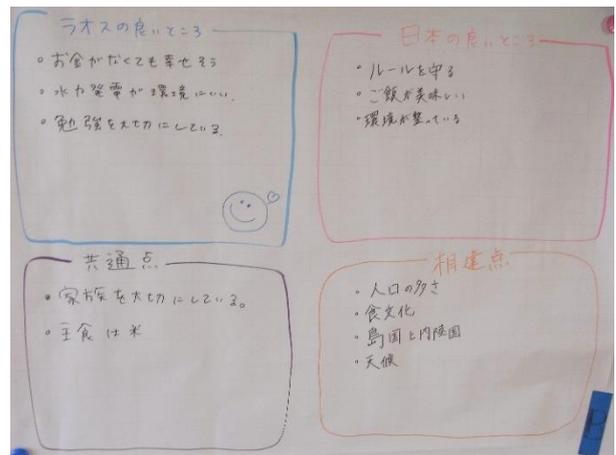
<写真1> 国際協力って何だろう？ハンドブックの読み合わせ    <写真2> ラオス人なりきり自己紹介をする



<写真3> 派生図を作成する



<写真4> 4つの対比表



### 2 参考文献・資料

- 1) BRUTUS 787号付録 国際協力って何だろう？ハンドブック (マガジンハウス社)
- 2) 沖縄タイムス+